

ソウルコラージュ SOULCOLLAGE 21days!

ご準備いただくもの (改訂版 2023年11月11日)

A 台紙とプロテクト用セロファン、そしてアタリ用のフレーム：

B 用具：

C コラージュ素材 プリントアウト：

D. 雑誌 など

詳しい説明：

A 台紙とプロテクト用セロファン、そしてアタリ用のフレーム：

- ・台紙：規定サイズの1ミリ厚のボール紙 最初の日は少なくとも5枚くらい
- ・台紙サイズをくり抜いた アタリ用の厚紙 1枚

【1.規定サイズの台紙】 ￥

硬めのボール紙 (厚みが1ミリくらいのもの) の台紙 (5x8インチ) 最終的には48枚必要

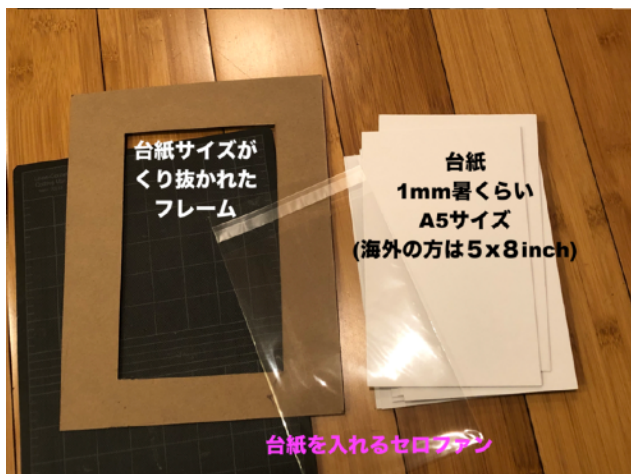
【2.プロテクト用セロファン】

上記のサイズが包めるセロファン袋をダイソーなどで大きめのを買っていただき
後ろをセロテープで止めていただくことになります。

【3.アタリ用のフレーム】

アタリ用のフレーム：

5x8インチをくり抜いた画用紙は、構図を決めるのに必要です。必ずご用意ください 1枚



写真右の白いのが硬いボール紙の台紙です (A5と書いてありますが、5X8インチがお勧めです。詳しくは次のページの青文字をお読みください)

まんなかの透明なのがカードを保護する袋。左の黒いカッターボードの上のが、台紙と同じ大きさをくり抜いたアタリ用の枠縁です。枠縁に関しては画用紙くらいの柔らかさでも大丈夫です。

【台紙のサイズについて】

全世界のソウルコラージュでは、定型の大きさ（5x8インチ=12.5cm x 20.3cm）の台紙カードが売られています。カードが増えて行った時に**同じ大きさであることが必要**です。（ワークショップで説明します）

しかし、日本ではまだ導入されておらず、販売されていないため、ソウルコラージュの全世界標準に準じ、5x8インチ（12.5cm x 20.3cm）をご自身でお作りいただく事になります。大切なのは**同じ大きさであること**。

***代用案** ソウルコラージュを続けられたい方は、5x8インチを絶対的にお勧めしますが、このオラクルだけでいい、という方はA5でも結構です。ただし、一旦サイズを決められたらその後はずっと同じサイズでお作りください。が、その場合、以前作ったカードを作り直していただくこととなります

B 用具：

- ・はさみ
- ・カッター & カッターボード
- ・のり
- ・いらない雑誌（のりを塗る時用に）
- ・ノート 筆記用具

C コラージュ素材 プリントアウト：

下記リンクにあるものをダウンロードし、プリントアウトしてください。

<https://www.dropbox.com/sh/ad568onz08nchax/AACinhz06x0sRmFY01-l4NrYa?dl=0>

リンクが飛ばない場合、コピーでこの上のサイトへお願いします。

フォルダが三つあります。

- 1) **SUBJECT / PEOPLE**または**KIDS**の中から 好きなだけ。
（PEOPLEの中からお選びください。なるべく色んな多岐に渡ったタイプをお選びください）
- 2) **BG**の中から 好きなものを、好きなだけ。
- 3) **その他**、BGの中、ほかでも、付け加えたそうなもの（花とか 月とか）

また、お手持ちの雑誌、広告などからも人物、フルーツ、車、時計、ジュエリーなど、なんでも。切り取る、またはプリントしておいてください。

【プリントアウトするものの選び方】

思考で選ばず、直感で、右脳でお選びください。（多めに選んでおいてください）

- ・あまり考えずにピンと来たもの。
- ・なんだか、引っかかるもの。（好き、嫌い、どちらも ←ここ、ポイントです）
- ・もしくは考えすぎても、脳裏にやきついている物。（好き嫌いどちらも ←ポイント）

【プリントの大きさについて】

プリントしたものを5x8インチの台紙に貼って行くので、例えば背景の場合、少なくとも5x8インチ（12.5cm x 20.3cm）以上ないと、全面をカバー できません。大き目にプリントアウトされるのがいいでしょう



ピンク色の部分がA5サイズ（海外の方は5x8 inch）その中に収まるようにコラージュを作っていくので、プリント物は大きめに

D. 雑誌

プリントもいいですが、ご自分のお手持ちの写真や、ポスター、カレンダー、雑誌、絵本などで、使いたいものがあればなんでも、それを切り取ってやっていただくのはとても素晴らしいです。また、ワークショップのその場で気分が変わったときに雑誌をめくって選ぶことも可能です。できれば雑誌を数冊用意しておかれることを強く推奨します。とても便利です。

ご自分のお手持ちの写真や素材の場合、十分な大きさがあることが必須。拡大コピーなどで対処下さい。

【向いてるもの】ドキュメンタリーっぽい雑誌（例：アサヒグラフなど）は重宝します。

【向かないもの】特にサブジェクトとなる人間を選ぶ時、ファッション雑誌の人物像には感情が伴わないものが多いため、内面を散策するときは向かない傾向にあります。

雑誌がない場合は：

- ・友達にたずねる、美容室でもらう、図書館へ行ってリサイクル雑誌がないか聞く。
- ・気になる街の広告、カレンダー、ポスターなど 気に入ったものを写メして大きめにプリントする。

また、雑誌は多めにご準備いただくと便利な上、ノリをつけるときや、カッターで切る時のボードの代わりにもなります。

その他：ご注意

*プリントアウト素材も、雑誌も、ご自分で撮影された写真以外は全て著作権があります。個人で使用するぶんには問題ありませんが、売買することは固く禁じられています。著名人を起用する場合、SNSなどでも著作権、肖像権にご注意願います。